peace peace peace

ふなで

発行日　2017年　10月
発行所　社会福祉法人　大阪福祉事業財団
（障害者通所施設）　せんごくの里
発行責任者　せんごくの里　施設長　永田 美子
〒597-0051　貝塚市 王子 1183-3
TEL(072)437-1075　FAX(072)437-1076
せんごくの里URL http://www.sengoku-sato.com
白いくもURL http://www.sengoku-sato.com/Cafe_01.html

地域の中に着実な一歩を

ふと見上げれば、透き通るほどの青空に、うろこ雲、とんぼの姿。残暑の中にも、ほっとする秋の気配。

麻生中の作業場を使い始めたのは去年の3月。30坪ほどのフロアに、作業机や作業材料を運び入れても十分なスペースに、少しずつ備品を揃え作業環境を整えてきました。

雨が降っても風が吹いても、毎日、利用者・職員合せて13～14名位が公用車で移動し、軽作業にとりくみます。業者からの信頼も厚く、皆の仕事ぶりには頼もしさを感じます。

今年の夏は、世界情勢の危うさが現実的なものとなって身に迫ってきました。当たり前の日々の生活が脅かされるのではと危惧するなら、今、福祉の充実、平和を願う思いを声に、行動に表さなければと思います。

施設長　永田　美子

福祉情勢コラム

厚生労働省は8月31日に2018（平成30）年度予算の概算要求を発表しました。総額31兆4298億円で、前年度当初予算比2.4%増となっています。年金や医療・介護といった社会保障費は、高齢化に伴う自然増として6300億円の伸びです。しかし、政府方針として社会保障費の伸びを5000億円に抑え込むことが決められているので、1300億円の削減が必要です。

障害福祉サービス関係の概算要求額は1兆3689億円で、前年度比8.2%の伸びです。ただ、障害福祉サービス等報酬改定については、予算編成過程で検討するとして具体的数字は明らかになっていません。現在、報酬改定検討チームで検討が進められており、年末までに報酬の骨格を固め来年2月までにサービスごとの報酬単価を決めるとされています。

ここで気になる点が、1300億円の削減です。来年度は医療・介護の報酬改定も行われます。黙っていれば報酬単価が下げられ、「いのち」・「くらし」が脅かされることは目に見えています。事業所の運営にも大きく影響してきます。

そうならないため、そうさせないためにも関係団体とも協力し声を上げていくことが必要です。

副施設長　寺田　恒

新人職員紹介

支援員
濱上　勝彦
頑張ります！！

かふぇ&ベーカリー「良くも」

2017年10月1日で開店から丸7年が経ちました。皆様のおかげで8年目を迎えることが出来ました。ありがとうございます。10月14日（土）には、半額セールを行います。

営業時間　9時～15時
営業日　月曜～土曜日（第1第3土曜日はお休みをもらっています）

相談窓口

施設のことや通所相談など、福祉全般の疑問や質問をお気軽に相談してください。

担当　永田

夏のボランティア

～貝塚市立第四中学校生徒さん～

お知らせ

貝塚ひびきあいまつりのチラシが出来ました。皆様、是非お越し下さい。

福祉のひろば ご案内

～今月のおすすめ記事～

●養護老人ホームはどうなっているのか！
●熊本大地震
『避難所で過ごせない障害者はどこに避難すればいいの？！』
●ラッキー植松さん
〈似ラストレーション〉

などなどです。
見本誌もご用意できます。
毎月500円＋消費税

担当　大塚・川瀬

後援会会員募集中

大阪福祉事業財団の応援団になっていただける会員の方々を募集しています。

担当　山野・永松

2017夏 プールへGO!!

ゴーヤ作り

～軽作業・わくわく班～

６月初旬に貝塚市役所から配布されたゴーヤ１０株をベランダに植えました。

皆で一生懸命に水やりをした甲斐もあり、スクスク大きくなりました。

今夏も暑い日ざしでしたが、ゴーヤの葉っぱの『グリーンカーテン』のお陰で、眼にも身体にも涼しい夏となりました。

大きく成長したゴーヤを皆で収穫し、天ぷらにして食べました。なかなか美味でした～。

藤本　久美子

自治会『ひまわり』

～夏のボーナス交渉～

今年も夏のボーナスが支給されました！事前に自治会全体会で、いくらボーナスをもらいたいのか意見を出し合って要望額を決定しました。

みんなの代表として会長、副会長の２名で所長に要望書を提出し検討の結果ボーナス支給が決定しました。

残念ながら希望額には届きませんでしたが、皆で一致団結して要求を出したことで一人一人の思いが伝わったのだと感じました。

上出なるみ
永松　享子

音楽療法

～いつでもどうぞ～

VOL.15

ミュージック・ケアのセッションは、部屋のドアを開けたままで行っています。何故でしょう？廊下や隣の部屋にいる人にも音楽が聴こえるようにする為？廊下から室内のセッションの様子が窺えるようにする為？部屋にいる事がしんどい人は退室できるようにする為？一旦退室したけど戻りたくなった時には自由に入室できるようにする為？ドアを開けておく事で閉塞感を軽減する為？実は全てです。

室内のセッションに参加するのも自己決定、参加しない選択も立派な自己決定です。廊下にいる事を選んだ人は室内での活動を見ている時間が多いように思えます。今日の居場所を自分で選んだから「何だか楽しそう」という気持ちで見る事ができるのでしょうね。隣の部屋にいる事を選んだ人は、リラックスした様子で音楽に合わせて体を揺らしています。

「こっちに（部屋に）来てみない？」「一緒に（部屋に）入ってみる？」等の声かけは、曲が終った一瞬の静寂（サイレントタイム）の後が最も届きやすいと言われています。頑張って聴き終えると（動作模倣をし終えると）ホッとして心の扉が開かれる瞬間がサイレントタイムだからです。

今日は何処で参加しますか？ちょっとしんどい人にはお訊ねしてあげると、少し違う表情を見せてくださるかもしれませんね。

日本ミュージック・ケア協会
認定指導者　浦川暁美

街のみなさんこんにちは

～自主製作品・いきいき班～

ＪＲ和泉橋本駅の近くに『コロッケさん』というお弁当屋さんがあります。店主の藪田末廣さんが作るお弁当は、地域のみなさんから愛される美味しいお弁当です。

そのお弁当屋さんにご縁があって、今年の６月からいきいき班の商品の油処理袋【油っこちゃん】を置かせてもらえることになりました。「もう売れたよ」「また持っておいで」藪田さんから連絡をもらうと、いきいき班のメンバーで歩いて商品を持って行きます。

藪田さんの優しい応援を力に、これからも力を合わせてがんばっていきます！

曽我部　真由子